

大学基準2. 教育研究組織

中期目標

【目標1】理念・目的を踏まえ、且つ社会的要請に対応した大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織を適切に編成する。

(1) 大学評価委員会

中期計画【計画1】(目標1に対応する計画)		達成度評価指標【指標1】	
[1-1] 各「自己評価実施部会」にて、毎年度の事業計画立案と実績報告を行う。 [1-2] 「学園政策会議」にて、本学の総合的政策及び戦略にかかわる基本問題の審議を行う。		[1-1] 事業計画立案と実績報告、自己点検・評価年次報告書の作成 [1-2] 審議記録(注:問題の設定にも依存する。)	
2018年度	年次計画内容 [1-1] 次期認証評価を見据え、新たな「評価の視点」等を自己評価実施部会へ提示する。	計画実施状況 次期認証評価のポイントとスケジュールを全学へ提示した。(第11回大学協議会報告3) ポイントは次の4点。(1)内部質保証の一層の重視、(2)教育のPDCAの重視、(3)教学マネジメントの重視、(4)全学的視点からの自己点検・評価。 2021年3月の認証評価書類提出に向け、各学部・研究科等には2019年度の後期に、基礎となる記述依頼を行うこととしている。	指標に基づく中期目標の達成状況 事業計画の立案と実績報告は、毎年度の取組として継続的に実施している。
	[1-2] 新たな学部、新たなキャンパスについて、その具体化を図る。	2018年5月の学園政策会議で、設置準備室会議の「学部再編の方針」を確認した。その後、修正を一部余儀なくされ、2019年2月の同会議で改めて方針を再確認するに至った。 新札幌地区に設ける新たなキャンパスについては、常任理事会の下に設置した「新札幌拠点検討小委員会」で検討を進めている。	2020年度については現行の学部学科構成とすること、2021年度以降については2019年度の早い段階で判断することを確認した。
2019年度	年次計画内容 [1-1] 次期認証評価を見据え、各学部・研究科における活動状況を把握する。		
	[1-2] 新札幌キャンパスにおける学部学科の具体的手続きを行う。		